

III 輸出入申告事項登録業務の改善

プログラム変更要望に基づく追加検討項目：航空／海上共通（通関）

平成27年3月20日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社



輸出入申告事項登録業務の改善

項番	区分	案件	ご要望内容
1	通関	「輸出申告事項登録（EDA）」 業務における大額、少額種別の入力 の簡素化	輸出申告事項登録画面を展開する際、大額、少額種別を選択するにもかかわらず、展開画面上にも「大額、少額識別」の入力するのは不要かと思われるので、当該欄の入力を省略できるようにしてほしい。
2	通関	輸出申告（少額）業務におけるHS 品目コードの入力可能化	少額の場合は品名が必須入力となっている。品名の入力方法として現行のインボイス品名の手入力の他、HSコード9桁を入力することでタリフの品名を自動払い出し（大額申告と同様）されるようにしてほしい。
3	通関	「輸入申告事項登録（IDA）」 業務の改善（担保・保険・評価）	担保引落とし可能期間及び包括保険の有効期限内に申告予定の輸入申告について、「輸入申告事項登録（IDA）」業務を実施可能としてほしい。 また、包括保険及び包括評価申告における期限管理を検討してほしい。
4	海上 通関	「輸入申告事項登録（IDA）」 業務における入港日のブランク化	入港日が必須項目となっているが、航空システムで可能となっているように、ブランクにて申告できるようにしてほしい。

1. 「輸出申告事項登録（EDA）」業務における大額、少額種別の入力簡素化

区 分	概 要
1. 検討事項	「輸出申告事項登録（EDA）」業務における大額、少額種別の入力簡素化
2. 変更要望	輸出申告事項登録画面を展開する際、画面コードにて大額もしくは少額のいずれかを選択しているが、展開後の画面上においても「大額・少額識別」を入力する必要がある。展開画面上にも「大額・少額識別」の入力するのは不要かと思われるので、当該欄の入力を省略できるようにしてほしい。
3. 次期仕様	輸出申告事項登録画面を展開する際、画面コードに従い、「大額・少額識別」を自動で補完する。 対象業務は以下のとおり。 ・「輸出申告事項登録（EDA）」業務

変更イメージ

業務コード入力

業務コード EDA

種別

SEL (輸出・特定委託・特定製造・積戻し／大額)

SEL (輸出・特定委託・特定製造・積戻し／大額)

STL (特定輸出申告／大額)

SGL (展示等積戻し申告／大額)

SES (輸出・特定委託・特定製造・積戻し／少額)

STS (特定輸出申告／少額)

SGS (展示等積戻し申告／少額)

AEL (輸出・特定委託・特定製造・積戻し／大額)

ATL (特定輸出申告／大額)

AGL (展示等積戻し申告／大額)

AES (輸出・特定委託・特定製造・積戻し／少額)

ATS (特定輸出申告／少額)

AGS (展示等積戻し申告／少額)

SEL等大額の種別（画面コード）を選択した場合は自動的に「L」が補完される。

共通部 繰返部

大額・少額識別＊ L

EDA.SES 輸出申告事項登録（輸出・積戻し申告／少額）

ファイル(E) 表示(V)

大額・少額識別＊ S

申告等種別＊

申告先程

SES等少額の種別（画面コード）を選択した場合は自動的に「S」が補完される。

2-1. 輸出申告（少額）におけるHS品目コードの入力可能化【概要】

区 分	概 要
1. 検討事項	輸出申告（少額）におけるHS品目コードの入力可能化
2. 変更要望	「輸出申告事項登録（EDA）」業務等について、少額申告等の場合、品名は必須入力となっている。また、輸出統計品目番号については、先頭4桁の品目コードのみ入力可能となっており、9桁の品目コードが入力できない。品名の入力方法として現行のインボイス品名の手入力の他、HSコード9桁を入力することでタリフの品名を自動払い出し（大額申告と同様）されるようにしてほしい。
3. 次期仕様	少額申告等の場合においても、輸出統計品目番号に9桁の品目コードの入力を可能とし、9桁の品目コードが入力された場合は、品名をシステムで補完する。対象業務は以下のとおり。 ・「輸出申告事項登録（EDA）」業務 ・「輸出申告変更事項登録（EDA01）」業務 ・「輸出許可内容変更事項登録（EAA）」業務

変更となるパターン

申告種別	大額 少額	現行		次期	
		輸出統計品目番号	品名	輸出統計品目番号	品名
E：輸出申告 R：積戻し申告 N：特定委託輸出申告 M：特定製造貨物輸出申告 T：特定輸出申告	大額	9桁入力	任意入力 （自動補完）	9桁入力	任意入力（自動補完）
	少額	4桁入力	必須入力	4桁入力	必須入力
				9桁入力	任意入力（自動補完）
	G：展示等積戻し申告	4桁入力	必須入力	4桁入力	必須入力
				9桁入力	任意入力（自動補完）
	少額	4桁入力	必須入力	4桁入力	必須入力
				9桁入力	任意入力（自動補完）

2-2. 輸出申告（少額）におけるHS品目コードの入力可能化【イメージ図】

現行

輸出における少額申告の場合、輸出統計品目番号の先頭4桁のみ入力が可能（ただし、品名は必須入力）

【入力イメージ】

輸出統計品目番号

先頭4桁のみ入力可能。

直接入力している。

【出力イメージ】

統計品目番号

品名＊

品名

次期

大額申告と同様に、輸出統計品目番号9桁での入力を可能とし、輸出統計品目番号9桁で入力された場合は、システムに登録されている品名を自動補完する（先頭4桁で入力された場合は、現行と同様に品名を必須入力とする）。

【入力イメージ】

輸出統計品目番号

【出力イメージ】

統計品目番号

輸出統計品目番号9桁が入力された場合、システムに登録されている品名を自動補完する。



品名

3－1．「輸入申告事項登録（IDA）」業務の改善（担保・保険・評価）【概要】

区 分	概 要
1．検討事項	「輸入申告事項登録（IDA）」業務の改善（担保・保険・評価）
2．変更要望	担保引落とし可能期間及び包括保険の有効期限内に申告予定の輸入申告について、「輸入申告事項登録（IDA）」業務を実施可能としてほしい。また、包括保険及び包括評価申告における期限管理を検討してほしい。
3．次期仕様	① 担保について、「申告等予定年月日」欄に入力がある場合は、当該年月日で引落とし可能期間チェックを行う。 ② 包括保険について、「申告等予定年月日」欄に入力がある場合は、当該年月日で有効期間チェックを行う。 ③ 包括保険について、業務実施日が適用終了の2週間前から適用終了間近である旨の注意喚起メッセージを出力する。 ④ 包括評価申告について、業務実施日が有効期限の2週間前から有効期限間近である旨の注意喚起メッセージを出力する。 対象業務は以下のとおり。 ・「輸入申告事項登録（IDA）」業務 ・「シングルウィンドウ輸入申告事項登録（SWA）」業務 ・「輸入申告変更事項登録（IDA01）」業務 ・「輸入申告（IDC）」業務 ・「シングルウィンドウ輸入申告（SWC）」業務 ※ ③、④については事項登録業務のみ

3-2. 「輸入申告事項登録（IDA）」業務の改善（担保・保険）【イメージ図】

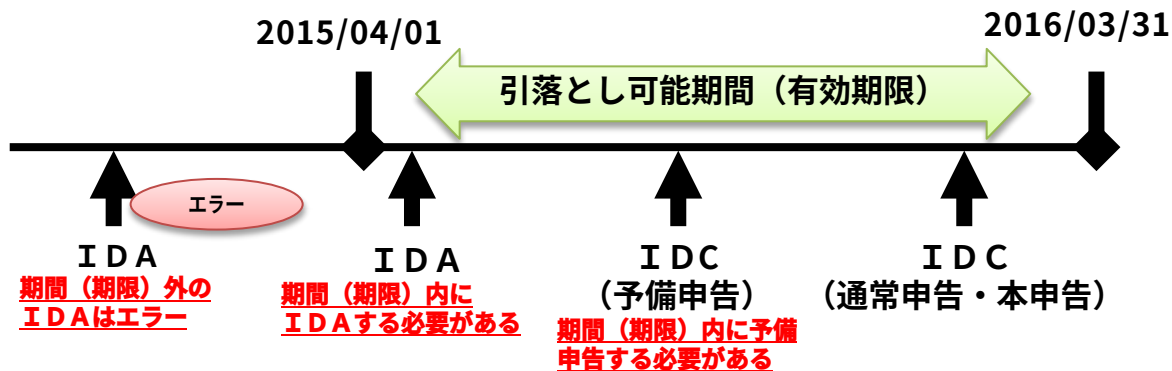
現行

担保引落とし可能期間及び包括保険の有効期限内に申告する予定の貨物であっても、期間（期限）外に輸入申告事項登録業務を実施することはできない。したがって、後続業務の予備申告も実施できない。

輸入申告事項登録 IDA

申告番号
識別符号
申告等予定年月日 2015/04/03

申告等予定年月日が期間（期限）内であっても、業務を期間（期限）外に実施しようとするとエラーになる。



次期

入力した「申告等予定年月日」が担保引落とし可能期間及び包括保険の有効期限内である場合は、輸入申告事項登録業務及び予備申告業務を実施可能とする。

輸入申告事項登録 IDA

申告番号
識別符号
申告等予定年月日 2015/04/03

申告等予定年月日が期間（期限）内である場合は、業務を期間（期限）外に実施することを可能とする。



※ 通常申告又は本申告は、現行の仕様どおり業務実施日でチェックを行う。

3-3. 「輸入申告事項登録（IDA）」業務の改善（保険・評価）（期限管理）【イメージ図】

現行

包括保険及び包括評価について、適用終了（有効期限）年月日間近である旨の注意喚起メッセージが出力されない。

次期

輸入申告事項登録を実施した日が適用終了（有効期限）年月日の2週間前を過ぎている場合は、注意喚起メッセージを出力する。

(例) 適用終了(有効期限) 年月日
2015年3月30日の場合

2015/03/17

適用終了（有効期限）間近の注意喚起メッセージ出力期間

2015/03/30

適用終了
2週間前

適用終了日

(注意喚起メッセージ出力時のIDC輸入申告入力控イメージ)

注意喚起メッセージ出力期間中に輸入申告事項登録を実施した場合、以下の注意喚起メッセージをIDC輸入申告入力控情報の「業務メッセージ」に出力する。なお、包括保険・包括評価とも同様な形式の注意喚起メッセージを出力する。

業務メッセージ				
	コード	内容	処置	項目ID
	COMPLETE			
	W0018	入力された包括評価申告受理番号の有効期限が2週間をきっている。	包括評価申告受理番号を確認する。	0000

IDC 輸入申告入力画面															
ファイル(F)	編集(E)	表示(V)	印刷(P) オプション(O)												
システム選択 税引															
入力情報特定番号															
実行ファイル															
ファイル名	サイズ														
入力項目ガイド															
業務プロセス <table border="1"> <thead> <tr> <th>コード</th> <th>内容</th> <th>処理</th> <th>項目ID</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>COMPLETE</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>W0018</td> <td>入札の決定(国庫多額入札の場合にのみ適用される。入札結果が確定したときから起る。)</td> <td>当該国庫多額入札の結果を確定する。</td> <td>0005</td> </tr> </tbody> </table>				コード	内容	処理	項目ID	COMPLETE				W0018	入札の決定(国庫多額入札の場合にのみ適用される。入札結果が確定したときから起る。)	当該国庫多額入札の結果を確定する。	0005
コード	内容	処理	項目ID												
COMPLETE															
W0018	入札の決定(国庫多額入札の場合にのみ適用される。入札結果が確定したときから起る。)	当該国庫多額入札の結果を確定する。	0005												
業務履歴情報 IDA122081															

共通部 送込部									
代表経番	申告種別	区分	あて先機関	部門	事項登録日	特別あて先機関	特別部門	申告番号	
H005 1	IC	[]	TOKYO	BT	2015/03/06			100 0510 0048	
			申告案件		申告予定年月日		2015/03/06	本申告	
輸 入 者	-	NARE							
住 所	-	A00R001	A00R002						
	-	A00R003							
	-	A00R004							
電 話	-	TEL							
輸入取引番	-								
付 出 人	-	SISAGINOK							
住 所	-	A00R001	A00R002						
	-	A00R003	A00R004						
輸込の受託者									
代 理 人	IACG	IACG NAME							
法人番号	104-122081	実務機関	申 領	保税地別	IACG	(4-JPY)(GORG)			
法人名称	-	実務数量	10 0 000	課入増減					
取組済	-			最終記入年月日	/ /				
輸出港	USAK LOS ANGELES - CA			貿易利益率割合	110	調査月符号			
郵便番号	/ /								
入荷年月日	/ /								
貿易管理簿	輸入申請書			仕入番号	A -				
検査官	-			仕入金(電子)	-				
派遣管理番号	-			仕入金価格	A - FIO - JPY -	1,000,000			
商品	-			運賃	A - JPY -	50,000			
燃料	-			保険	A - JPY -	30,000 -			
船料	-			倉庫主損	JPY -	1,007,000.00			
輸入申請証等(I)	-			評価	E -				
CQ	-			補正	AO - JPY -	7,000 -			
CD	-								

4-1. 「輸入申告事項登録（IDA）」業務における入港日のblank化【概要】

区 分	概 要
1. 検討事項	「輸入申告事項登録（IDA）」業務における入港日のblank化
2. 変更要望	海上システムにおいて、「輸入申告事項登録（IDA）」業務等において、輸入申告及び蔵入等承認申請の場合は、「入港年月日」欄の入力条件は「F：補完後必須項目」であるが、航空システムで可能となっているように、blankにて申告できるようにしてほしい。
3. 次期仕様	航空システムの仕様と同様に、「輸入申告事項登録（IDA）」業務等においては、事項登録から予備申告までの間「入港年月日」欄をblankで登録可能とする（貨物DBに登録がある場合は自動補完する。）。対象業務は以下のとおり。 ・「輸入申告事項登録（IDA）」業務 ・「シングルウィンドウ輸入申告事項登録（SWA）」業務 ・「輸入申告変更事項登録（IDA01）」業務（予備申告中のみblankを可能とする） ・「輸入申告（IDC）」業務 ・「シングルウィンドウ輸入申告（SWC）」業務

変更となるパターン

IDA業務時の処理結果		航空	海上	
			現行	次期
貨物DBなし		正常終了	エラー	正常終了
貨物DBあり	入港年月日が登録されていない場合	正常終了	エラー	正常終了
	入港年月日が登録されている場合	正常終了 (自動補完)	正常終了 (自動補完)	正常終了 (現行どおり)

4-2. 「輸入申告事項登録（IDA）」業務における入港日のブランク化【イメージ図】

現 行

海上貨物の輸入申告事項登録業務（種別が輸入申告及び蔵入等承認申請のもの）においては、「入港年月日」欄が必須入力である。予備申告等で、船舶が入港する前に事項登録する場合は入港予定年月日を入力している。

輸入申告事項登録
IDA

入港年月日 2015/02/20
貿易形態別符号 518 コンテナ本数

ブランクにするとエラーになってしまうため、入港予定年月日を必須入力している。

次 期

海上貨物においても、「入港年月日」欄をブランクとして輸入申告事項登録及び後続の予備申告を実施することを可能とし、通常申告又は本申告時に、貨物情報から入港年月日を自動補完することとする。

